



憲法をいかす福島県民集会に参加



憲法をいかす福島県民集会が11月3日、福島市で開催され、郡山社民フォーラムから4名が参加しました。

ジェンダーをめぐる諸問題、台湾をはじめとする東アジア情勢について講演のあと、お二人の高校生平和大使から、戦争体験のない世代に核兵器や戦争の「非人道性」を伝える活動について、報告がありました。

結びに、集会アピールを満場の拍手で採択しました。

資料館を見学し被爆者の声を聴く大切さ

高校生平和大使の報告を聴き、八重樫小代子市議と飯塚裕一市議は、かつて議員団として、さらには郡山の中・高校生を引率して原爆資料館を見学し、被爆者の声を聞いた経験を思い起こし、こうした取り組みを復活させなければと、平和教育への決意をあらたにしました。

原発をめぐる情勢も急変

岸田政権は、東日本大震災・福島第一原発事故以降採られてきた、「原発依存の低減」や「新增設の凍結」の方針を投げ捨て、原発推進のため、GX（グリーン・トランス・フォーメーション）実行会議を立ち上げました。

福島県社民フォーラムの提起を受け、郡山りつみん倶楽部と郡山社民フォーラムは「岸田政権の新原発推進政策に反対する緊急全国署名」に全力で取り組むことになりました。

11月22日までに62筆の署名と「郡山りつみん倶楽部」のホームページを活用し、多くのオンライン署名を集めることができました。

福島朝鮮学校を支援する募金

郡山社民フォーラムの各会員に募金を呼び掛け、11月21日までに20,000円を寄付することができ、12月中旬まで支援の輪を拡

げる取り組みを進めます。

馬場ゆうき衆議院議員が30歳に



10月15日の郡山社民フォーラム第2回立憲民主党員協議会で、この日30歳の誕生日を迎えた馬場雄基衆議院議員が、来賓として挨拶されました。

※郡山りつみん倶楽部ホームページ
<http://koh-sdf-fsm.jp/>